森 陽香

紙いっぱいに、いきものが描かれています。
これらの作品は、
車いすに乗っている森さんが、足を使って 描きました。
はじめは ていねいに描こうとしていましたが、
さまざまな人との出あいで、
どんどん 思いきりのよい作品になりました。
昔のおもちゃも 動物も、森さんが描くと、
いきいきと動きだしそうです。



本田 正

やわらかいかたちと、鮮やかな色が特徴の作品です。
これらの作品は、
本田さんが出会った野菜や たべものなどを 表しています。
黄色は たくあん、灰色は つけもの石。
本田さんは 絵を描くことのほか、
農業をしたり サーフィンをしたり、
自然の中で過ごすことが 多いです。
ひとつひとつの色やかたちに
本田さんの想いと物語が 詰まっています。



香川 大介

いろいろな形や もようが たくさん描かれています。
香川さんは、20代のときに、
絵を描きながら 日本中を旅しました。
香川さんにとって 描くことは「生活」だそうです。
何も考えないような気もちで 描いていると、
ときどき 自分でも みたことがない「新しいもの」に
出あえるそうです。
生きるエネルギーが
そのまま形になっているようです。





田口 BOSS

見たことがない 生き物のようなものや
細胞のようなものたちが、
カラフルに 描かれています。
描いた 田口さんも
「どうしてこのような絵が生まれるのか、わからない」
と話します。
田口さんは70才を過ぎてから、
「これからは 死ぬまで絵を描いていこう」
という気もちで、絵を描きはじめました。
力強い心の中の世界が 表れているようです。

ぬか つくるとこ

岡山県の生活介護事業所「ぬか つくるとこ」の日常が、
展覧会の会場に やってきました。
ここでは みなさんが
「軽いバーベルを重そうに持ちあげる」ことをします。
勝ち負けは ありません。見ているだけでもだいじょうぶです。
目的や意味がなくても、本気で楽しんで やってみると、
ちがう世界が みえてくるかもしれません。
いっしょに やってみましょう。



杉浦 篤

こすれたり 色あせたりして、
なにが写っているか、
あまりわからない写真たち。
杉浦さんは、これらの写真を
20年以上、自分の部屋で 大切に さわってきました。
写真を さわりながら見ることが好きなのです。
写真の形は変わり、
写っているものや色は 見えなくなっていきますが、
杉浦さんの想いが すりこまれているようです。



清水 ちはる

やわらかい形の文字が、紙いっぱいに 書かれています。
清水さんは、文字を書くほか、
自分の家で 小さな箱を たくさんつくり続けています。
清水さんの家族も協力して、
箱のある場所が 家の中で どんどん広がっています。
文字を書くことと、箱をつくることは、
清水さんにとって
どのように
つながっているのでしょうか。



ソウゾウ・チケット

「ソウゾウ・チケット」は、
この展覧会「ソウゾウ・トレイニング」を
より楽しむためのアイテムです。



つくったのは、この展覧会を見た人です。
気になったところ、
不思議だなと思ったところ、
いいなと思ったところなどが 書いてあります。
作品を見る 手がかりに してみましょう。

展覧会を見終わったら、
あなたも、次の誰かのために、
ぜひ「ソウゾウ・チケット」を
つくってみてください。



アール・ブリュット 2026 巡回展
ART BRUT 2026 TOURING EXHIBITION

ソウゾウ・トレイニング！
ーひきだす、つなぐ、この場所でー

Sozo Training!
-Drawing Out Imagination and Creation, Connecting, Being Here-



まめガイド

アール・ブリュットとは？

アール・ブリュット（Art Brut）はフランスの芸術家ジャン・デュビュッフェが考えたことばです。特別な美術の勉強をしていない人などが、自分の考えや、方法で表現するアートです。



展覧会で伝えたいこと

「トレイニング」と聞いて、なにをイメージしますか？

電車などを意味する「トレイン」と似ていると
思った人も いるかもしれませんね。

「トレイニング」という言葉は、
ラテン語の「引き出す」という 意味の言葉から
うまれたそうです。
実は、「トレイン」も
同じ言葉が由来だそうです。

今回の「トレイニング」は、
7組の作家の作品から
みなさんが自分の想いを引き出して、
みなさんの「ソウゾウ」を変える 展覧会です。

展覧会を通して、
だれかの想いが、また次のだれかへと届いて、
日常へ つながっていくかもしれません。

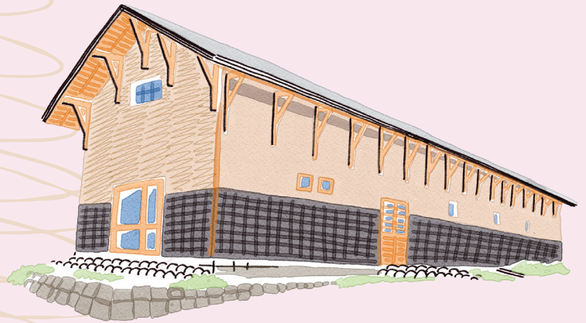
あなたも
ソウゾウ・トレイニング、はじめてみませんか。



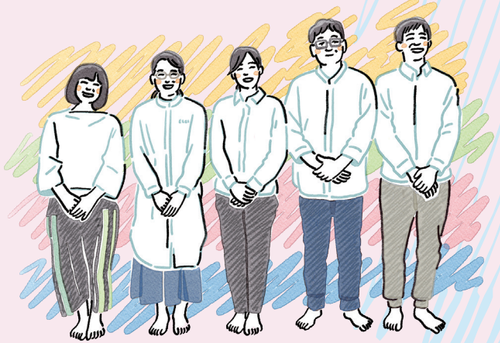


展覧会を考えた人

はじまりの美術館 キュレーター



はじまりの美術館は、
福島県猪苗代町にある 小さな美術館です。
2014年に できました。
いろいろなテーマの展覧会やプロジェクトを
おこなっています。
今回は 東京都渋谷公園通りギャラリーの
みなさんと協力しながら、
「ソウゾウ・トレイニング」展の企画を 考えました。



ソウゾウ・トレイニング！

この「まめガイド」では、アール・ブリュット 2026 巡回展
「ソウゾウ・トレイニング！ーひきだす、つなぐ、この場所でー」
の7組のアーティストを紹介します。



主催：東京都、東京都渋谷公園通りギャラリー
（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）
後援：港区、小金井市、三宅村教育委員会
Organizers：Tokyo Metropolitan Government, Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery (Museum of Contemporary Art Tokyo , Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)
Supported by：Minato City, Koganei City, Miyake Village Board of Education

イラスト：古山フウ
デザイン：AFFORDANCE inc.
テキスト：はじまりの美術館（岡部兼芳、小林竜也、大政愛）
やさしい日本語テキスト監修：一般社団法人スローコミュニケーション
編集：東京都渋谷公園通りギャラリー

©2026 Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

東京都
東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery